

平成27年度

運営に関する計画・自己評価

大阪市立夕陽丘中学校

平成27年度 教育指導の計画

[学校運営の重点]

「生きる力」を育む、感動ある教育活動を推進し、思いやりあふれる学校をめざす。

重点目標

心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力を育成する。

《具体的方策》

1. 基礎的・基本的な内容の確実な定着と、生徒の活発な意見をもとにした学習活動を充実し、自ら考え、意欲的に解決する力を育む。
2. 豊かな体験的活動を通して、個性を尊重し、互いに支えあう集団の育成を図り、思いやる心や感動する心を育む。
3. 自らの健康や体力に関心をもち、健康でたくましい心身を養い、自律的な生活習慣や態度を育む。
4. 今日的課題に対応する教育を充実させ、自らの判断で、生きるべき道を選択し、決定するとともに、社会の変化に的確に対応できる力を育む。
5. 元気アップ地域本部と連携して、地域・保護者の学校支援体制を構築し、家庭や地域の教育力を活かした教育活動を進めるなかで、地域行事への積極的な参加とともに、地域の一員である自覚と感謝する心を育む。

《努力目標》

何ごとも「心」をこめて行動しよう。

1. 気持ちよく挨拶のできる生徒
2. 心をこめて人の話の聞ける生徒
3. ルールやマナーを守る生徒
4. 自らすすんで掃除をする生徒

1 学校運営の中期目標

現状と課題**現状**

- ・「感動と心」をキーワードとし、教育目標を『生きる力』を育み、感動ある教育活動を推進し、思いやりあふれる学校をめざす。」と設定して、教育活動を展開している。
- ・生徒は学習に対する意欲をもち「何事にも心を込めて行動する」を努力目標として、教育活動の取り組みを進めている。学習面では、全国の学力・学習状況調査をみる限りにおいては、全国平均と同程度の学力が備わっており、意欲的に学習活動を進めている。また、基本的な生活習慣が、身につけている生徒がほとんどであるが、一部、生活指導上の課題のある生徒も現存する。
- ・学校協議会においては、教員が、熱心に学習指導に取り組んでいる点と多様な課題に教職員が協働して取り組んでいる点が、評価されている。

課題

- ・学力の二極化が、課題としてあげられる。習熟度授業や少人数授業を活用することや、生徒間で話し合う活動を行うなどの工夫を行い、より良い授業実践を展開し、自ら学習できる態度を育成する。
- ・学校元気アップ事業をより積極的に活用して地域との連携をさらに深めていく。
- ・体調面や時間管理等について自ら考え、行動できるそして、自己管理のできる生徒の育成に努める。
- ・学習面や生活指導面において、9年間のスパンで子どもを育てるという観点で、小中連携を推進していく。

中期目標**【視点 学力の向上】**

- 平成28年度の全国学力・学習状況調査における「普通の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を40%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 平成27年度までに全教科において小学校との教科間連携を実施する。 (マネジメント改革関連)
- 平成27年度には、テスト前学習に参加する生徒の割合を15%にする。 (カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 毎年度末の校内調査において遅刻生徒の数を、毎年、前年度より減少させる。 (カリキュラム改革関連)
- 平成28年度の全国学力・学習状況調査における「人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を95%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 平成28年度の全国学力・学習状況調査における「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を35%以上にする。 (ガバナンス改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 平成27年度末の校内アンケートにおける「清掃活動を積極的に取り組んでいる。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える生徒の割合を85%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 平成27年度末の校内アンケートにおける「体調面での自己管理ができている」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える生徒の割合を80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 検診で分かった症状の受診率100%をめざす。 (カリキュラム改革関連)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

- ①言語活動の取り組みを学校全体で取り入れ、平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 40%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- ②平成 27 年度末には、校区小学校と校種や教科を越えた連携を図り、指導法について研修し、相互の授業参観を実施する。 (マネジメント改革関連)
- ③平成 27 年度のテスト前学習に参加する生徒の割合を 15%にする。 (カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- ①平成 27 年度末の校内調査において遅刻生徒の数を前年度より減少させる。 (カリキュラム改革関連)
- ②平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 95%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- ③平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 35%以上にする。(ガバナンス改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- ①平成 27 年度末の校内アンケートにおける「清掃活動を積極的に取り組んでいる。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える生徒の割合を 85%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- ②平成 27 年度末の校内アンケートにおける「体調面での自己管理ができています」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える生徒の割合を 80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- ③検診で分かった症状の受診率 100%をめざす。 (カリキュラム改革関連)

3 本年度の自己評価結果の総括

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標を達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>①言語活動の取り組みを学校全体で取り入れ、平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 40%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>②平成 27 年度末には、校区小学校と校種や教科を越えた連携を図り、指導法について研修し、相互の授業参観を実施する。 (マネジメント改革関連)</p> <p>③平成 27 年度のテスト前学習に参加する生徒の割合を 15%にする。 (カリキュラム改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【表現力の育成】</p> <p>I C Tを活用するなどして、授業で言語活動を活発に取り入れることを目標に授業内容を工夫し、研究授業・研究協議を実施することで、学校全体で表現力の育成に努める。</p>	
<p>指標 年度中 1 回表現力の育成を目指した校内研修会を実施。 年度中 1 回 I C T活用研修を実施する。</p>	
<p>取組内容②【小中連携】</p> <p>校区小学校との連携を強化し、相互の授業参観を実施し、研修を行うことで教科のスキルアップを図る。校種や教科を越えた連携を築く。</p>	
<p>指標 年度中 1 回小中で相互参観を実施し、研究協議を一緒に行う。 長期休業中に 1 回小中連携の会議を実施する。</p>	
<p>取組内容③【補充学習の充実】</p> <p>定期テスト前の放課後を活用し、「テスト前学習」の時間をとり、生徒に呼びかけ実施する。</p>	
<p>指標 年間 5 回の定期テストごとに 2 日間のテスト前学習を実施し、参加する生徒の割合を 1 5 %にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>①平成 27 年度末の校内調査において遅刻生徒の数を前年度より減少させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>②平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を 95%以上にする。(カリキュラム改革関連)</p> <p>③平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を 35%以上にする。(ガバナンス改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【生活習慣の確立】</p> <p>学期はじめに集会週間をとり生活リズムを取り戻す。毎朝の風紀当番で風紀委員に遅刻の統計をとらせ、風紀カードを発行させる。</p>	
<p>指標 月 1 回の遅刻の統計を集計して、風紀通信の形で発行する。担任の先生がクラスに促す。風紀カードに保護者チェック欄を設け、遅刻者、服装違反者の家庭へ知らせる。</p>	
<p>取組内容②【道徳心の育成】</p> <p>ピアサポート、道徳副教材の積極的な活用、福祉体験をはじめとする年間行事の深化充実をはかる。</p>	
<p>指標 (1) 道徳副教材をはじめ、子どもの実態に即した教材を精選し、各学年、体験活動を学期に 1 回以上実施する。 (2) 学年、クラスでピアサポートの時間を年間 6 時間実施する。</p>	
<p>取組内容③【社会性の育成】</p> <p>元気アップ事業との連携、生徒会ボランティア清掃への参加など地域とのかかわりを働きかける。</p>	
<p>指標 生徒会主催で年に 2 回地域の清掃活動を行う。 保護者、地域の方と協力し校内の大掃除を年 1 回実施する。 地域行事への参加を促すため、元気アップ通信を年 5 回発行する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

年度目標	達成状況
<p>【視点 健康・体力の保持増進と美化意識の啓発】</p> <p>①平成 27 年度末の校内アンケートにおける「清掃活動を積極的に取り組んでいる。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える生徒の割合を 85%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>②平成 27 年度末の校内アンケートにおける「体調面での自己管理ができている」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える生徒の割合を 80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>③検診で分かった症状の受診率 100%をめざす。 (カリキュラム改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【美化環境整備】 毎日の清掃活動と定期的な大掃除及び油引き・地域や保護者の協力・参加型のクリーンアップ大作戦をさらに充実させ、美化意識の啓発を行う。</p> <p>指標 美化委員を活性化させ、清掃点検を行うと共に給食当番係りの中心的な役割を担うよう指導する。地域清掃を 2 回実施する。</p>	
<p>取組内容②【健康な生活習慣の確立】 毎日の生活の中での手洗いうがいの習慣が身につくよう指導する。</p> <p>指標 給食実施（本年度は 1・2 年生全員給食）にともない、給食当番も含めた手洗い・うがいの習慣が身につくよう指導する。 清潔・健康調査を学期に 1 回実施し、健康管理の意識を高める。</p>	
<p>取組内容③【健康に関する現代的課題への対応】 「保健だより」を活用し、病気やケガについての啓発を行う。</p> <p>指標 「保健だより」を毎月発行とインフルエンザ流行時期に適切な調査の実施。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

